

単元の指導と評価の計画

早川 絵理花

単元名

結論の出し方を工夫して、合意形成のための話し合いをしよう

1 単元の目標

(1) 主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。

〔知識及び技能〕 (2)ア

(2) 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫することができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕 A (1)オ

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

「学びに向かう力、人間性等」

2 本単元における言語活動

「よい」グループディスカッションを行う、という目的に応じて結論を得たり、多様な考えを引き出したりするための議論や討論を、既習事項を参考にしながら行う。

（関連：〔思考力、判断力、表現力等〕 A(2)ウ）

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	「話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。(A(1)オ)	話し合うことを通して主張と論拠の関係について理解を深め、目的、種類、状況に応じた話し合いの仕方や結論の出し方の工夫について粘り強く考える中で、自らの学習を調整しようとしている。

4 指導と評価の計画（全5時間）

次	主たる学習活動	評価する内容	評価方法
1	○グループディスカッションとは何か、どんな目的・どんな場面でグループディスカッションをするかを考える。 ○実際に代表者がグループディスカッションを行い、その様子から気がついたことを共有する。 ○単元の目標や学習の進め方を確認し、学習の見通しをもつ。	〔主体的に学習に取り組む態度〕	「記述の確認」
2	○「よい」グループディスカッションの条件、そのために必要な要素を個人で考える。 ○個人思考の内容をグループで共有し、グループごとの結論を全体で共有する。 ○既習事項（正確な表現のために事実と主観を分ける）を想	〔知識・技能〕 〔思考・判断・表現〕	「記述の分析」 「行動の観察」

	<p>起し、説得力のある主張をするためには明確な論拠が必要であることを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「体育祭の種目は何がよいか」をテーマにグループディスカッションを行う。</li> <li>○他のグループのディスカッションを評価する。</li> <li>○「よい」グループディスカッションを成立させるための話し合いの工夫について理解する。</li> </ul>		
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「よい」グループディスカッションを実現させることを目標にグループディスカッションを行う。</li> <li>○グループごとにディスカッションの自己評価を行う。</li> <li>○Google フォームを用いて個人で単元全体の振り返りを行う。</li> <li>○グループ・個人の振り返り内容を全体で共有し、今後の学校生活で活用するためのまとめを行う。</li> </ul>	<p>[思考・判断・表現] [主体的に学習に取り組む態度]</p>	<p>「行動の分析」 「記述の分析」</p>

### 【単元の流れ】

次	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
1 (1単位時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グループディスカッション (GD) について考える。(目的、内容、場面、雑談との違い)</li> <li>○GD の様子を見て、気が付いたことをワークシートに記入する。</li> <li>○気づきを共有する。</li> <li>○単元の目標を確認し、学習の見通しをもつ。</li> <li>○個の課題を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「グループディスカッション」という言葉の意味、これまでにどんなGDを行ってきたか、GDの目的は何かを考えさせる。</li> <li>・代表者4名程度を選出し、テーマを与えて7分でGDを行う。時間になるまでは終了しないよう伝える。</li> <li>・GDの様子を動画撮影し、Classroomで共有する。動画は本時終了後、Classroomから削除する。</li> <li>・個人→全体の流れで共有する。</li> <li>・気づきをまとめ、単元の目標と今後の学習の進め方を伝える。</li> <li>・GDを見ての気づきや、これまで行ってきた話し合い活動等での自分自身の振る舞いを想起させ、単元における個の課題(単元を通してどんなことができるようになりたいか、どんな自分になりたいか)を考え、ワークシートに記入させる。</li> </ul>	<p>[主体的に学習に取り組む態度] 「記述の確認」 ・これまでの自分を振り返りながら目標を設定できているか ※指導に生かす評価</p>

<p>2 (2単位時間)</p>	<p>○【個人】 「よい」GD の条件、そのためにどんな要素が必要かを考える。</p> <p>○【グループ】 個人で考えたことをグループで検討する。</p> <p>○グループごとの結論を全体で共有する。</p> <p>○主張と論拠の関係について理解する。</p> <hr/> <p>○前時の学習内容を振り返る。</p> <p>○【グループ】 2グループずつに分かれ、「よい」GD を目指してGD をする。</p> <p>○GD を見ての気づきを共有し、話合いの仕方や結論の出し方の工夫を理解する。</p> <p>○次時の学習について見通しをもつ。</p>	<p>・「よい」GD とはどんなものか、そのようなGD を実践するためにはどんな要素が必要かを考えさせる。(ノートに記入)</p> <p>・自分の考えについて「なぜそれが必要なのか」を考えるよう促す。</p> <p>・クラスを4グループに分ける。</p> <p>・グループごとに「結論」を出すよう伝える。</p> <p>・結論としてまとめたものの理由、結論をまとめるためにどのような議論を行ったかを確認しながら共有を進める。</p> <p>・生徒から出た意見に対し、「なぜそう考えたか」を確認しながら進める。</p> <p>・既習事項である「正確な表現のために事実と主観を分ける」を想起させ、各グループで出した結論に説得力を持たせるためには明確な論拠が必要であることを理解させる。</p> <hr/> <p>・「よい」GD の要素、主張と論拠の関係について想起させる。</p> <p>・「体育祭の種目は何がよいか」というテーマでGD を行う。</p> <p>・教室内で2グループずつ同時にGD を行い、残り2グループの生徒はそれぞれもう1グループのGD の様子を見てワークシートに気づきを記入し、そのグループへの評価コメントを作成する。</p> <p>・GD を評価する際は明確な論拠をもとに主張できているか、主張と論拠の関係が妥当性の高いものになっているかに着目するよう伝える。</p> <p>・生徒の気づきをもとに、「よい」GD を成立させるための工夫について整理する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>司会・記録など役割分担 考えをまとめるための時間を設定 多数決ではない意見のまとめ方 などを想定</p> </div> <p>・本時の振り返りをもとに、次時はテーマを変えてまとめのGD を行うことを予告する。</p> <p>・次時のGD テーマ候補「美唄市の人口を増やすには、どうしたらよいか」「勉強の意欲を高めるための効果的な方法は何か」「小学生が読書感想文にAI を使用することを許可する場合、どんな約束事が必要か」を提示し、1つを多数決で決定する。</p>	<p>[知識・技能] 「記述の分析」 ワークシート ・主張と論拠の妥当性について評価できているか ※記録に残す評価</p> <p>[思考・判断・表現] 「行動の観察」 GD の様子 ・GD に参加する中で「よい」GD にするための展開の仕方について考えられているか ※指導に生かす評価</p>
----------------------	---	---	--

<b>3 (2単位時間) 本時の授業は2単位時間中、1時間目に該当。</b>	○前時に行ったGDの振り返り  ○【グループ】 前時に決定したテーマでGDを行う。	・前時のワークシートの記述を紹介しながら、内容を想起させる。  ・「○○」というテーマで1グループずつGDを行う。(1グループにつき7分) ・GDの様子は動画で記録する。 ・GDを行っている生徒以外は、GDを見て評価を行う。 ・すべてのグループのGD終了後、グループごとに自分のグループが行ったGDの自己評価を行う。(Google スプレッドシートにまとめる)	[思考・判断・表現] 「行動の分析」 GDの様子 ・「よい」GDの実現のため、テーマから考えを広げたり深めたりして話合いの仕方や結論の出し方を工夫できているか。
	○前時に行ったGDの総括  ○【個人】 単元の学習を振り返る。	・前時でグループごとに行ったGDの自己評価を基に、各グループのGDについて全体で振り返りを行う。  ・Google フォームを用いて、次の項目について振り返りをさせる。 ・観点別の目標について自己評価とその理由 ・単元の最初と最後の自分を比べて変化したこと ・設定した個の課題についての状況 ・他の人の姿でよかったことや感心したこと ・その他自由記述 ・Google フォームでの振り返り内容は生徒にコピーが残る設定にする。 ・Google フォームでの振り返りを集約した内容をモニターに映し、振り返りが終了した生徒はそれを見ながら他者の振り返りを確認する。	[主体的に学習に取り組む態度] 「記述の分析」 Google フォーム ・主張と論拠について理解を深め、話合いの工夫について粘り強く考えて取り組み、自己の学習を振り返ることができたか。
	○本単元で学んだこと、できるようになったことを今後の学校生活のどんな場面で活用していけるかを考える。	・各自の振り返りを総括し、今後の学校生活へ広げる視点を持たせる。	

## 5 評価の実際

### 【知識・技能】(第2次2時間目：ワークシートへの記述の分析)

#### [Bと判断できる生徒の姿]

他者のGDを見て、論拠を示して主張しているかを評価することができる。

例：「バレー部がなく、生徒の実力差が小さいのでバレーがよい、という主張がよかった。」

「楽しいから、という理由でバスケットを主張していたが、それだけでは他の人を納得させられないと思う。」

[Aと判断できる生徒の姿]

他者のGDを見て、論拠を示して主張しているかを評価し、自らの評価の理由を示すことができている。

例：「バレー部がなく実力差が小さいという主張が、各クラスの公平性という観点で納得できるものだったので説得力があってよかった。」

「楽しいというだけでは説得力が弱いので、体育の授業で全員が取り組んでいるためルールが分からない人がいなく、みんなが楽しめて体育祭の目的を果たせる、と主張すると説得力が増してよい。」

[Cの生徒への指導の手立て]

それぞれの生徒が自分の意見をどのように主張しているかに注意して評価するよう促す。

【思考・判断・表現】（第3次1時間目：GDでの行動の分析）

[Bと判断できる生徒の姿]

自己や他者の主張に説得力があるかどうかについて、論拠をもとに判断し、グループとしての結論を導き出すために全員の意見を聞きながら進行する、結論としてまとめた内容の理由付けを明確にして共有するなど、話合いの仕方を工夫している。

[Aと判断できる生徒の姿]

自己や他者の主張に説得力があるかどうかについて、論拠をもとに判断し、グループとしての結論を導き出すために全員の意見を聞いて意見をまとめる、結論の理由付けを明確に行う、グループ全員の理解を確認するなど、率先して話合いの仕方を工夫する役割を果たしている。

[Cの生徒への指導の手立て]

第2次2時間目の行動の観察においてCと判断される生徒に対し、よいGDにするための工夫を確認し、GDに参加する上での困り感がないかを確認し解消する。

【主体的に学習に取り組む態度】（第3次2時間目：振り返りGoogleフォームへの記述の分析）

[Bと判断できる生徒の姿]

主張と論拠の関係について理解し、話合いの工夫について粘り強く考え、自己の学習を振り返ることができている。

例：「今までは論拠をあまり考えずに自分の意見を言っていたが、今回のGDでは説得力のある論拠を考えて発言することができた。また、単純に多数決で決めるのではなく、結論を出すときにもその理由をみんなで検討することで納得しやすいと学んだ。」

[Aと判断できる生徒の姿]

Bの姿に加え、今後の学校生活への活用について言及することができている。

例：「～～と学んだので、これから授業や行事に向けて話し合いをする時は、それぞれの意見について、どうしてそう考えるのかを聞いた上で判断していきたい。」

学 習 指 導 案

科目名	現代の国語		実施日時	令和7年11月19日（水）3校時	使用教室	書道教室
実施クラス	1年1組21名	所見	明るく活発なクラス。勉強に対して苦手意識を持つ生徒も多いが、授業や学習課題等に対して真摯に取り組む。			
教材	ワークシート					
単元	結論の出し方を工夫して、合意形成のための話し合いをしよう				5時間中4時間目	
単元の目標	(1) 主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。 [知識及び技能] (2)ア (2) 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫することができる。 [思考力、判断力、表現力等] A(1)オ (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 「学びに向かう力、人間性等」					
単元の評価規準	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ウ)		「話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。(A(1)オ)		話し合うことを通して主張と論拠の関係について理解を深め、目的、種類、状況に応じた話し合いの仕方や結論の出し方の工夫について粘り強く考える中で、自らの学習を調整しようとしている。	
本時の目標	グループディスカッションのテーマについて話し合う中で、合意形成に向けて進行の仕方や結論の出し方を工夫することができる。					
言語活動	「よい」グループディスカッションを行う、という目的に応じて結論を得たり、多様な考えを引き出したるための議論や討論を、既習事項を参考にしながら行う。(関連：[思考力、判断力、表現力等] A(2)ウ)					
学習活動		指導上の留意点			評価の実際	
導入 (5分)	前時の学習を振り返り、「よい」グループディスカッション(GD)を成立させるための工夫を確認する。 本時の目標について確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時のワークシートの記述を紹介しながら、内容を想起させる。</li> <li>本時では前時までの内容をもとに、班ごとにGDを行い、結論を出すことを確認する。</li> </ul>			学習活動の(導入)では、前時までに整理した内容を生徒が理解しているかどうかを確認しながら授業を進める。 <展開>では評価規準をもとに生徒の活動状況を観察しながら授業を進める。	
展開 (35分)	グループごとに共通のテーマでディスカッションを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループ7分で順番に行う。</li> <li>GDの様子は動画で記録する。</li> <li>ディスカッションを行うグループ以外はそのグループのディスカッションを見て、ワークシートに気づきを記入させる。</li> </ul> ○合意形成に向けた話し合いとなるよう、特に進行の仕方や結論の出し方に留意するように伝える。			【評価方法】行動の分析 「思考・判断・表現」 【評価Cの生徒への指導の手立て】 ○前時において手立てが必要だと判断された生徒に対し、GDに参加する上での困り感がないかを確認し本時の前に解消しておく。 ○「よい」GDを成立させるための工夫をGD実施中にも確認できるよう、モニターに示す。	
(7分)	グループごとに自分のグループのディスカッションについて振り返り、よい点と改善点をGoogleスプレッドシートにまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループごとに「よい点」「改善点」をそれぞれ4つ以内にまとめるよう指示する。</li> </ul>				
まとめ (3分)	次時の授業内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>次時は本時で行ったGDの振り返りを全体で共有した後、単元全体を通した個人での振り返りを行うことを伝える。</li> </ul>				